

平成21年度 第2回福知山千年の森づくり協議会 結果報告

(概要)

標記協議会が開催されました。

- ◆日時 平成22年3月26日(金)
午前10時30分～午前12時
- ◆場所 福知山市民会館31号室

1 開会・挨拶

(松山正治福知山市長)

- ・平成20年度に「福知山千年の森づくり基本計画」を策定した。「福知山千年の森づくり計画区域は市民と共に守り育てていく必要がある。
- ・平成21年度は協議会の事業として森づくりの「福知山千年の森メモリアル植樹」や、エコツーリズム推進の「エコツアーガイド養成講座」を実施してきた。
- ・委員の皆様にはワークショップで貴重な意見をいただいた。
- ・協議会の取り組みを通して森づくりはもとより、農山村の活性化や農業振興、観光振興につなげていきたい。
- ・本日は活動内容を事務局案として提案させていただくので、多方面から種々検討いただき良い取り組みにつなげてほしい。



協議会開会



松山市長挨拶

2 総会定数の確認

- ・25名中17名出席

3 協議事項

- (1) 第1号議案 平成21年度 事業報告(案)
- (2) 第2号議案 平成22年度 事業計画(案)

事務局より提案を行い、全て承認された。



森本会長挨拶

4 意見交換(委員の意見)

(1) ワークショップに参加して

(第1号議案 事業報告に基づいて)

(赤松) 自然公園指導員代表:

- ・将来に活動が続くようにしていかなければならない。山の良い所、悪いところを認識して外部から見ても魅了があることが大切。住んでいる人が魅力を感じるように、里山の

利用、経済活動が出来ればと考える。

(井上) 観光団体代表 :

- ・ 様々な規制もあるが、国定公園としてもっとPRしなければならない。

(正木) 施設代表 :

- ・ 金になる山にしていかなければならない。
- ・ 福知山千年の森づくり事業についての認知度も地元ですえも低い。
- ・ イベントなどを通じてこの活動を周知していかなければならない。

(西山) モデルフォレスト団体 :

- ・ 長期的な構想で、実感がわかないが一つでも多く実現していきたい。

(藤田) 行政関係者 :

- ・ 森林環境保全と都市整備計画を連携させる。街中と周辺部を連携させた森づくり、まちづくりを実施して地域に活動を浸透させていきたい。

(梅原) 京都創成大学 :

- ・ 初心者ではあるが、自分の意見を役に立てていきたい。

(小西) 福知山市PTA連絡協議会 :

- ・ 山のことはわからないことが多かったが、ワークショップで色々と学ぶことがあった。子どもを持つ親の立場として、色々な機会を通じて伝えていきたい。

(宮本) 田倉代理 福知山環境会議 :

- ・ 環境会議でも良い構想が練られているが、それを実行して市民に伝えていかないと意味がない。余談ではあるが、観光ガイドボランティアガイド養成講座において、皆勤出来なかった場合でも補講を受けることで、終了証がもらえるようにしてほしい。

(事務局 観光振興) :

- ・ 今回は講座を終えたので、補講は難しい。次年度も養成講座を計画しているので、この中で考えたい。

(山口) 福知山文化財保護審議会 :

- ・ もっと山を歩く必要がある。特に三岳山の知識が少ないので、歩いてみたい。行けば何かが見つかる。

(2) 第2号議案 事業計画に基づいて

○今後の中長期的な活動計画については今後の課題となる。

(井上) 観光団体 :

- ・ ケヤキは市の木であるが、別の木ではだめなのか。

(事務局 農林管理課) :

- ・メモリアル植樹としては3年間でケヤキの苗木を1000本贈呈して、それを植樹するという計画で進んでいるので、これは理解していただきたい。それ以外の部分で色々と考えていきたい。

(仕名野) 自然公園指導員 :

- ・三岳山山頂のパラボラアンテナは何とかならないか。また山頂に案内板があれば、景色をより楽しむことが出来る。
- ・国定公園整備は、専門家や地元の方の話を聞くことが大切。標識の内容についても地元の聞き込みが必要。
- ・議案に人材育成計画が抜けている。人材バンクを入れてほしい。

(事務局 農林管理課) :

- ・計画の中に入れてたい。

(森本) 会長 :

- ・ブログ等を通じて、協議会の活動をPRする。ブログの更新は行政には任せず、サポーター(ボランティア)にしてもらうのもよい。

(正木) 施設代表 :

- ・森づくりについては地元の人と話をすることが必要。
- ・4月29日に三岳新緑まつりがある。そこでこの活動についてPRできないか。

(事務局 農林管理課) :

- ・チラシやパネルがあるので、それを使ってPRしてほしい。

(岩佐) 大江山自然愛好会 :

- ・大江町や三岳地域には小学生の「緑の少年団」があるので、もっとそれを活用して協議会と共同活動をしてはどうか。
- ・委員に入ってもらってもよい。

5 閉会挨拶

(村上) 副会長 :

- ・昨年のケヤキの植樹について、子ども達も自分が年をとった時にどれくらい成長しているかについて、興味を持っていた。それで、三岳山荘が出来たときに植えたケヤキが40年ほどたって、大きくなっていたので、このくらいになると説明した。
- ・この様な植樹体験をすることで、子ども達の森を育てる気持ちが育まれたと感じた。
- ・これから協議会でどのような事をするのかイメージはわからないが色々と協力していきたい。森に対する情熱はかなりある。



村上副会長挨拶